

皆さん今日は！日本共産党のみわ由美です。私は、来年春の一斉地方選挙で捲土重来(けんどじゅうらい)何としても松戸から、県議の議席をとりもどす決意です。今度は負けない！頑張ります。ご支援、宜しくお願い致します。

私は、松戸から、戦争反対・集団的自衛権行使容認に、キッパリノーと闘います。

首相の記者会見後、私は、新八柱駅で宣伝中に、海上自衛隊に7年いたという青年から声をかけられました。「僕はイラク戦争に行った。人を殺す練習もした。でも僕は、国を守るために自衛隊員になったのであって戦争するためではない。安倍さんは間違っている。共産党に頑張ってもらいたい・・・」私は、強い衝撃を受けました。

数日後今度は、松戸の元山基地で30年間働いていたという元自衛隊員の男性からも、「共産党ガンバレ」と激励を頂いたのです。

みなさん、憲法九条は、戦後、国民や子どもたちの命を守ってきただけでなく、自衛隊員の命も守ってきた。そして戦争しないことでアジアと世界の平和にも大きく貢献してきたことは明らかではないでしょうか。今こそ、憲法を壊すな！立場や世代の違いを越えて、世論と運動を大きく広げましょう。

ところが千葉の県議会は、どうでしょう。私は昨日、《松戸9条ネット》の請願「集団的自衛権行使容認に反対して国に意見書を出して下さい」・・・この委員会審議を傍聴しましたが、自民・公明・民主が否決。最終日には、みんなの党も加わって7人全員、松戸市選出の県議会議員は、安倍内閣の応援団と言わざるを得ません。

今だからこそ、戦前戦後一貫して反戦平和を貫いた日本共産党の議席を、松戸に取り戻そうではありませんか。私は、3人の子育てをしながら3期12年県議会議員として松戸の皆様と共に歩んでまいりました。孫は、3歳の男の子で、生まれながらの重い心臓病を3度の手術で乗り越え、いま保育所でお世話になっております。懸命に生きるこの子達の未来に、私たちの未来に戦争など、絶対に許す事は出来ません。

皆さん、日本共産党の私みわ由美は、若者を戦地に送らない、日本を海外で戦争する国にさせない！平和と暮らしを守り抜きます！

11月の松戸市議会議員選挙では、日本共産党6人全員当選を！そして4月の県議選では、日本共産党の私みわ由美を！必ず、勝たせて下さい。

重ねてお願い致しまして、訴えとさせていただきます。みわ頑張ります！有難うございました。